

令和4年度(令和3年度実施事業分)主要事業評価シート						No.	30-14	
PDCA	主要事業名	新学校給食センター建設事業		部課名	学校教育課 (学校給食センター)	担当 内線等	鳥居 28-2461	
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 1 - 1 - 3 単位施策： 義務教育							
	全体事業期間： 令和 2 年度 ～ 7 年度 全体事業費等： 4,620,636 千円							
	会計 一般会計 歳出科目 09.06.03.03.50							
	3か年実施計画（当該年度事業費等）： 41,500 千円							
	事業概要等	事業概要： 学校給食センターを新たに十一号地（みなと公園の一部）に建設する。						
		事業目的： 現学校給食センターの老朽化への対策と最新の衛生管理基準へ対応するため、新学校給食センターを建設することを目的とする。						
		事業内容： 現在の学校給食センターは、施設、設備の老朽化が進んでいる。最新の衛生管理基準へ対応し、より安心安全な給食を提供するため、新学校給食センターを建設する。令和3年度は、新たに建設する建物等の図面を作成し、建設工事が発注できるまでの業務に着手する。						
		問題点・課題等： 新学校給食センターの完成までの間、安心安全な給食の提供ができるよう適切な維持管理を行う必要があるが、突発的な故障が増加している。						
	予算額	主要事業とする理由						
	35,033 千円	新学校給食センターを建設することで、衛生的なドライシステムやアレルギー対応調理室などの最新設備を備えた施設となり、衛生管理基準上の改善が図られる。						
財源内訳	得られる成果							
市費	新学校給食センターを建設・稼働することにより、今まで以上に安心安全な給食の提供が可能となる。							
35,033 千円								
国費								
0 千円								
県費								
0 千円								
その他								
0 千円								
D 値得られた成果と実績	決算額	得られた成果						
	15,279 千円	基本設計を実施したことにより、具体的な工事内容や工事費を算出し、実際の建設に必要なとなる、より詳細な設計内容を決める実施設計に着手することができた。						
	成果指標					令和3年度	単位	
	事業進捗率（基本設計）					実績値	100.0	%
						目標値	100.0	%
C 課題の整理	事業の評価・課題	B						
	昨年度策定した基本計画、敷地の境界確定、敷地造成設計及び地質調査の結果に基づき、具体的な建築物の構造、電気設備、機械設備などの工事の内容や工事費を算出する基本設計を実施した。また、年度の後半では、基本設計を基に、詳細な図面や仕様書を作成するため、実施設計に着手した。							
A 今後課題の解決方向に向けた	今後の事業の方向性	拡充推進						
	新学校給食センターの建設工事に向け、基本設計に基づいた実施設計を行う。実施設計では、具体的な工事の内容や工事費を積算するとともに、詳細な図面を作成し、令和6年9月の供用開始ができるよう、進捗を図っていく。							
	観点別評価	必要性		有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない	
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	⑧受益者負担適正化余地	※対象の変更	
③休廃止の影響		大きい	⑥類似事業の有無	ない		—		